

## 愛着と誇りを育む 幸せを実感できるまち

第六次釜石市総合計画に掲げる、目指す釜石の将来像「一人ひとりが学びあい 世界とつながり未来を創るまちかまいし」の実現に向け、令和8年度から令和12年度までを期間とする後期基本計画が始動します。

当市は、これまで幾度となく困難に直面しながらも、「人と人とのつながり」を力に変え、歩みを進めてまいりました。これまでに培われてきた絆や支え合いの精神は、当市の大きな強みであり、これからのまちづくりの礎となるものです。

後期基本計画では、地域の外から寄せられる力と、地域が育んできた「地域力」を結び付けながら、まちの魅力と暮らしやすさを高める5つの優先プロジェクトに取り組み、人口減少の影響を緩和しつつ持続可能なまちの基盤づくりを進めてまいります。

今、私たちが向き合う人口減少という課題は、国全体が直面する構造的な課題であり、これに抗うことは容易ではありません。しかしながら、人口が減少するからといって、このまちの価値や可能性が失われるわけではありません。ここに暮らす私たち自身が、「釜石をどのようなまちにしたいのか」「このまちでどのように生きていきたいのか」という思いを一つひとつ形にしていくことこそが、結果としてまちの魅力を高め、人を惹きつけ、未来につながっていくものと信じております。

立場や世代の違いを越えて知恵を出し合い、小さくとも確かな一歩を積み重ねていく、その積み重ねが、人口の多寡だけでは測ることのできない、釜石ならではの豊かさを育てていくのだと考えております。

市民一人ひとりがこのまちの主役として関わり、自らの役割や生きがいを見いだしながら、「愛着と誇りを育む 幸せを実感できるまち」を次の世代へと確実につないでまいります。

本計画の策定にあたり、多くの貴重なご意見やご提言をいただきました皆さまに心から感謝申し上げますとともに、今後の計画推進に向け、市民の皆さまの一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



令和8年3月

釜石市長 小野 共